



けやき

学校だより 9月号
西東京市立住吉小学校
校長 三澤 亘潤
令和8年9月1日
042-423-4187
<http://www.nishitokyo.ed.jp/e-sumiyoshi/>

これまでとこれからと

校長 三澤 亘潤

夏季休業期間が終わり、いよいよ、2学期の始まりです。ワックスを塗り替えてピカピカになった校舎に、子ども達が戻ってきました。とにかく、この期間に、大きな事件や事故の報告が無かったことに、安堵しております。まずは、このことを、当たり前に見えるけれど、とても幸せなことを、始業式で話しました。

さて、学校便り6月号の続きの内容となりますが、昨年度より少しずつ進めてきた運営上のプロジェクトの成果がまとまりつつあるので、お伝えします。

【学力】

年度当初に実施された、全国学力・学習状況調査の結果から、昨年度に続いて、住吉小の第6学年児童の学力が、国語・算数ともに、とても順調に定着していることが分かりました。

年度当初より、保護者会などでお伝えしているように、住吉小では、週2回、朝に、10分間のモジュール型短時間学習を実施しており、漢字や計算の基礎力の定着を図り、タブレット端末を用いたミライシードやデジタルドリルとの連携を図っています。

住吉小の強みは、ノートづくりの伝統があることです。自他の意見を記録して、学びを見返すことができます。各自のノートでは、数直線など、図や表を用いて数の関係を整理し、直観的に捉えることができます。昨年度から、課題改善カリキュラムとして、算数少人数担当教員を軸に、全てのクラスで、論理的に考える力を育てていることが、実を結んでいます。

【体力】

年度当初に実施された、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から、住吉小の児童の体力が、大幅に向上していることが分かりました。

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げの8種目の、2～6学年の男女別、のべ80種目のうち、46種目の偏差値が、昨年度の偏差値以上となりました。すなわち、全国的に見た各学年男女の記録が、昨年度の位置以上となりました。

昨年度以来、現役の日本代表選手や元プロ選手を招くとともに、担当教員を軸とした、体力向上の方策の見直しを進め、秋のミニ記録会を実施するなどして、個人記録を更新したことが、実を結んでいます。

【COCOLOプラン】

昨年度より継続して、カウンセラーによる全児童面談と、それに基づく全職員メンター制を基盤として、コーディネーターの教員を軸とした、問題解決型校内委員会により、それぞれの児童へのオーダーメイドの教育相談が根付きつつあり、安定した学校生活が実現しています。教科担任制や、チーム担任制を通して、たくさんの目で、子ども達を見ています。

以前からお伝えしているように、まずは、個人内評価を重視して、児童それぞれの力を伸ばすこと、基礎を見直して、つまずきを解消し、不安なく活用や応用・探究に向かえるように地道に努力しています。その一環として作成した、①全校九九テストの結果の個票 ②入学時からの体力調査の結果の個票 を、順次、配布します。また、非常時に備えて新設する、③児童地区班 に係る内容説明を、順次いたします。

こうした、これまでの基礎・基本を重視した学校運営を踏まえ、これからは「考える力」を自ら発動するような学習活動を徐々に展開していきます。次期学習指導要領を見据えて、教科横断型の学習パッケージの開発を進めています。未来に繋がる「未来科」に、保護者・地域・サポーターの参画を期待しております。